

# 東松島市五味倉地区

# 豊作・復興祈願祭を開催

5月11日(金)、宮城県東松島市大曲地区において、河南矢本土地区改良区主催による平成24年度作付地域の営農再開「復興・豊作祈願祭」が開催され、東松島市長外、地

元選出議員、国・県・市町村・地元関係機関等から約30名が参加しました。この祈願祭は、東松島市内の東日本大震災により津波被害を受けた区域において、復旧が完了し

平成24年度に稲の作付けが再開される農地の豊作と農作業の際の事故防止とともに地域の復興を祈願するため開催されたものです。

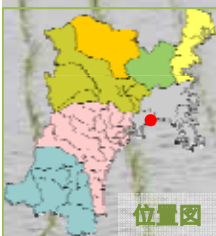
本祈願祭が行われた河南矢本土地区管内では、東日本大震災による津波で約1,000ヘクタールの農地が被害を受けましたが、農地の除塩や災害復旧工事を行った結果、平成23年度は190ヘクタール、さらに平成24年度は320ヘクタールの農地が営農可能となりました。

祈願を終え、河南矢本土地区改良区の佐藤勝也理事長は、「田んぼの土が見えることによって、農家の不安な思いが変わることを期待する」と述べました。また、今回田植え作業を行った、営農を再開した農地の所有者は「田んぼに稲がないと寂しい。皆さんの支援で作付けが出来てうれしい」と語りました。

なお、農地復旧を実施している宮城県東部地方事務所では、平成23年度に引き続き、平成25年度の水稲作付の再開に向けた農地復旧や除塩対策として、当土地改良区管内で約150ヘクタールの工事を実施する計画です。



復興祈願祭の様子



営農再開農地での田植え作業 = 5月11日 東松島市